



藤沢市役所

記者発表資料  
2024年(令和6年)11月12日

藤沢記者クラブ各位

## インフルエンザの流行が始まりました

厚生労働省では、毎年インフルエンザの発生状況調査を実施しており、今年度は9月2日以降を新シーズンとして、各種対策に取り組んでいるところです。

本市では、感染症発生動向調査による2024年第45週(11/4~11/10)におけるインフルエンザの発生状況が、定点※あたり1.13人(定点数15か所、患者報告数17人)となり、流行の目安となる基準(定点あたり1.00人)を超え、流行期に入りました。

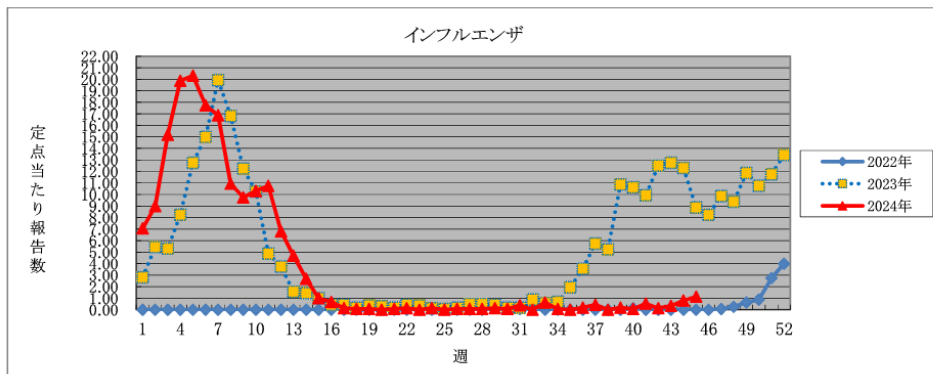
今後、さらに流行することが予想されます。感染予防対策をお願いいたします。

※「定点」:定期的に患者発生状況を報告いただいている市内医療機関(インフルエンザの場合は、15か所)。定点あたりの数とは、1週間分の患者数の平均値。

### ▼インフルエンザの定点あたり基準値の推移

週	集計期間	全国	神奈川県	藤沢市
42週	10月14日~10月20日	0.73	0.68	0.13
43週	10月21日~10月27日	0.87	0.96	0.33
44週	10月28日~11月3日	1.04	1.10	0.80
45週	11月4日~11月10日	-	-	<b>1.13</b> (流行開始)

### ▼藤沢市内のインフルエンザ発生状況グラフ



《次項あり》

## インフルエンザの感染予防対策

インフルエンザは、主に感染している人の咳やくしゃみ、つばなどの飛沫を吸い込むことで感染します。また、ウイルスが付着した手で、目や鼻をこすることでも感染するおそれがあります。

- ◆手洗いは石けんをよく泡立てて流水でしっかり洗いましょう。集団生活をしている施設では、共用タオルの使用はやめましょう。
- ◆咳などの症状があるときはマスクを着用するなど、咳エチケットを徹底しましょう。
- ◆咳やくしゃみを手で受け止めたときは、すぐに手を石けんで洗いましょう。
- ◆有効な予防方法の一つとして、流行前のワクチン接種をご検討ください。

**【注意！】**インフルエンザと診断された場合、抗インフルエンザ薬を使用して解熱しても、すぐにウイルスの排出がなくなるわけではありません。登校・登園や仕事に復帰する時期は、医師の指示に従ってください。

### 【参考：学校保健安全法による出席停止期間】

「発症した後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児は3日）を経過するまで」

### ▼過去の市内のインフルエンザ発生状況

年度	週	集計週間	基準値	発生状況
2019年度 (令和元年)	46週	11/11~11/17	1.25	流行開始
	50週	12/9~12/15	11.94	注意報
2022年度 (令和4年)	51週	12/19~12/25	2.75	流行開始
	5週(翌年)	1/30~2/5	12.75	注意報
2023年度 (令和5年)	36週	9/4~9/10	3.56	流行開始
	39週	9/25~10/1	10.88	注意報

※基準値が10を超えると「注意報」、  
30を超えると「警報」発令の後、  
10を下回ると「警報解除」

※2020年度、2021年度の流行はありませんでした。

\*この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所 健康医療部 保健予防課  
担当： 幸田・加藤  
内線： 7171  
直通： 0466(50)3593